

# 2023 年度 観光学部学生自治会活動報告 (2023.06～2024.07)

2023 年度観光学部学生自治会

委員長	増田雄紀
副委員長	龍 暁弘 加藤誠也
会計	尾崎健太 福元健斗
自治委員	青木真結 岡田水緒
	落合真大 中地雄大
	大塚友賀 岡本呼春
	桐田理央 甲斐朱乃
	水谷文香 森田真凜

## 1. 2023 年度の活動について

2023年		2024年	
7月	学生大会・オープンキャンパス	1月	受験生応援メッセージ作成
8月	学部長交渉	2月	「総合案内」作成
9月	学内清掃	3月	学内清掃
10月	ホームカミングデー	4月	新入生ガイダンス・学内広報誌「春SUN」発行
11月	学内広報誌「秋SUN」発行・大学祭出展	5月	観光学部交流会
12月	観光学部交流会	6月	学生大会事前アンケート実施
※一部抜粋			

## 2. 2023 年度定期学生大会と交渉の結果について

7月4日（火）に開催した「2023 年度定期学生大会」で、以下の議案が可決された。

### ①観光学部独自議案

「日本文化演習Dと英語ⅠAの時間割重複について」

「観光学部棟で快適に過ごすために」

「GP2.0 とわかやま未来学副専攻の時間割重複について」

「教員への事前登録の周知」

### ②全学議案

「規約改正」

「構内の舗装問題」

これらの実現に向けて8月25日（金）に観光学部長との交渉及び理事（教学）

との交渉 を実施した。

## ① 観光学部独自議案

### 1. 日本文化演習Dと英語ⅠAの時間割重複について

#### 【内容】

日本文化演習Dと英語ⅠAが時間割上で重複しているために、やむを得ず他の日本文化演習の科目を登録した人が見受けられた。学生が必修の被りを気にすることなく履修登録をすることができるようにするため、日本文化演習を登録した後に英語ⅠAが登録される仕組みの導入を大学に交渉した。

#### 【交渉結果】

日本文化演習の一部科目の開講時間が変更となった。

### 2. GP2.0 とわかやま未来学副専攻の時間割重複について

#### 【内容】

GP2.0の必修科目とわかやま未来学副専攻の必修科目の開講時間が重複している授業があった。Academic skillsⅡ（2年次、GP2.0必修科目）と地域協働演習基礎・地域協働演習A（2年次、わかやま未来学副専攻必修科目）の開講時間が第1クォーター、第2クォーターの木曜5限に重複していた。これにより、GP2.0にプレエントリーしている学生がわかやま未来学副専攻の受講を諦めざるを得ない状況が発生してしまっていたため、Academic skillsⅡの開講時間の変更を求めた。

#### 【交渉結果】

Academic skillsⅡの開講時間が変更された。

### 3. 観光学部棟で快適に過ごすために

#### 【内容】

コロナ禍における対応が緩和され、多くの対面授業が復活した。それにより、西4号館の利用者も増えたことで、以前の対応では発生することのなかった弊害が生じていた。そこで、西4号館において快適な学習環境を実現させるため、アフターコロナに対応した下記の設備の拡充を求めた。

- ・多目的スペース1階の照明
- ・多目的スペース1階コンセント
- ・多目的スペース2階の机・椅子

#### 【交渉結果】

多目的スペース1階に新たな机、椅子、照明、コンセントが設置された。

#### **4. 教員への事前登録の周知**

##### **【内容】**

事前登録が必要な科目の授業の際、観光学部の担当教員が該当科目の履修を取り消せる旨の案内をしていたことがあった。事前登録科目は原則として履修を取り消しが出来ず、矛盾した説明により学生の混乱が生じていたため、事前登録科目に該当する講義の担当教員に、担当する講義が事前登録科目であること（その講義の履修取り消しが出来ないこと）を周知、全教員に対して事前登録期間を徹底して把握していただくよう求めた。

##### **【交渉結果】**

特段の変化は見られなかったが、今後も教員に対して履修制度の把握徹底を求めていく。

## ② 全学部合同議案

### 1. 規約改正

2023 年 4 月より、社会インフォマティクス学環が新設された。これに伴い、和歌山大学学生自治会の規約に社会インフォマティクス学環の内容を追記した。

### 2. 構内の舗装問題

#### **【内容】**

大学構内の舗装に関して、シンボルゾーンでは経年劣化により雨水がたまりやすく、学生の歩行や移動時に危険を伴うため、側溝や排水口の拡充、ブロックの張り替え、側溝の増設を要望した。また、構内のコンクリートブロックは不安定で、割れや浮き出たブロックが怪我の原因になりうるため、ブロックの張り替えおよび固定、隙間の改善を求めた。さらに、正門付近の車道は劣化と路面標示の薄れにより交通事故の危険性が高まっているため、車道の改修工事を求めた。

#### **【交渉結果】**

正門付近の車道の改修工事が行われた。

## 3. 委員長より

2023 年度も観光学部学生自治会の活動にご協力いただき、ありがとうございました。昨年度は「学生自治会の知名度向上と学生間の交流促進」をスローガンに掲げ、SNS を通じた情報発信や質問箱の運営、12 月と 5 月に開催した“観光学部の交流会”を中心に取り組みました。さらに、オープンキャンパスやホームカミングデーにも参加し、未来の後輩やご卒業された先輩方にも学生自治会の活動を認知していただけるよう努めました。アンケートへの回答やイベントへの参加など、皆様のご協力に深く感謝申し上げます。今後とも観光学部学生自治会をよろしくお願いいたします。

観光学部学生自治会 2023 年度委員長 増田雄紀